

弓道ながの

第4号

発行：長野県弓道連盟
会長 古澤 博
〒389-2253
飯山市中央橋通り
TEL 0269 (62) 4121
編集：県弓連広報部会
印刷：樹長野企画会議



年頭にあたって

長野県弓道連盟会長

古澤 博



長野県弓道連盟の皆様には、ご健勝で、気持ち新たに、新春を迎え、まずもってお目出度うと申しあげると共に、会員のご多幸をお祈りいたしま

す。旧年中は県連各位の格別なるご支援助とご協力をいただき、全信州支部對抗、県近的遠的選手権、全日本男女遠近の予選を始め、審査、講習会を行ない、祝射会を最後に滞りなく終了しましたことは、有難く、感謝に堪えず、厚くお礼を申し上げます。

又県内各支部では弓道教室が普及され、活発な活動により成果をあげ、殊に女子弓道が盛んになって来ましたことは、ご同慶にたえません。

加えて学校弓道は、春の高校選抜、高校総体、国体において立派な成績をあげていただき、その功績に心からお礼を申し上げます。

県弓連は十二月末日を以って、平成十四年度とし、一月からは新年度になりますから、元旦は新年度になる訳です。まず何をおいても稽古から始めて下さい。それを寒稽古として続けて下さい。「当てる」のではなく「正射」を引くべく努力して下さい。大会、審

長野県弓道連盟
ホームページ

<http://kyuren.cool.ne.jp>

査はありません。正射を引き「無欲」で続けて下さい。続けることに意義があります。成績、結果は求めず「十文字の大きな射」になる様に、毎日弓を引き続けて下されば、答えは必ず出ます。

今年は一月六日が寒入りです。寒明けは立春の二月四日の三十日間を寒稽古をして、記録簿を用意し、毎日記入して下さい。練習なしで、最初の一射から十射を記入して、三十日の寒稽古の成績を出して下さい。それがシーズンになれば、技となり、自信となり、必ずや、役に立ちましょう。

そして平成十五年において、県弓連の各種大会、審査に大いに参加し、頑張ってくださいを希望します。長野県弓道連盟には、筋の通った弓を引く、立派な弓士が多くいます。一歩一歩前進し、気合を入れて稽古を続け、あせらず休まず、目的に向かって邁進して下さい。

平成15年

謹賀新年

元旦

長野県弓道連盟

名誉会長	宮澤 廣
会長	古澤 博
副会長	栗林 實
副会長	山川 茂樹
副会長	斉藤 節朗
副会長	蟻川 匡史
副会長	渡辺 静夫
理事長	桜井 耕三
常任理事 指導部長	清水 克也
常任理事 競技部長	古澤 金藏
常任理事 ジュニア部長	吉澤 金房
常任理事 審査部長	高井 忠史
常任理事 広報部長	

平成14年度

県祝射会

「弓道祭」で中曽根教士優勝

○11月17日/塩尻市営/参加者95名

14年度の叙勲・昇段昇格及び全国大会入賞者の祝射会が本年も盛大に開催された。

古澤博県弓連会長の祝辞のあと受賞者には感謝状と記念品が贈られ、受賞者を代表して石井華一郎氏(90歳)から謝辞があった。被表彰者は次の通り。

- ▼叙勲Ⅱ勲五等瑞宝章 石井華一郎
- ▼昇段・昇格
 - ・七段 宮島 一(飯伊) 杉田 博(松本)
 - ・教士 奥山誠治(長野) 田口光三(上小)



答礼射



- ・錬士 仲田耕一(飯伊) 高木涼子(上小)
- 遠藤由美子(上小) 松沢 千歳(松本)
- 木原その江(長野) 高地美佐子(上小)
- 高木 秀明(安曇) 松沢みさ子(須高)
- 徳竹 光春(中高)

▼競技・大会入賞

- 第53回全日本弓道大会
 - 範士の部 優秀賞 宮澤 廣(長野)
- 第20回全国高等学校選抜大会
 - 女子個人の部優勝 平澤京子(飯田女子)
- 第47回全国高等学校弓道大会
 - 団体女子の部 第4位(伊那西高校)
 - 上村暁美・田村みどり・後藤真由美
 - 福沢留美子・加藤良子
- 第57回国民体育大会弓道競技会
 - 少年女子遠的 第4位
 - 監督 北嶋 晋(赤穂高)
 - 選手 三村典子(松本美須ヶヶ丘高)
 - 伊藤 綾(赤穂高)
 - 安原美紗(長野日大高)

古澤博県弓連会会長矢渡しのあと参加者の祝射、被表彰者の答礼射に続き本年

から「弓道祭」として射詰競射が行われ、次の者が入賞した。

- 一位 中曽根浩(上小)、二位 伊藤 綾(赤穂高)、三位 赤羽昭美(諏訪)、四位 原 慶子(長野)、五位 大口晴男(飯山)

第53回全日本弓道 遠的選手権大会

○10月25〜27日/東京中央道場

本年は30mと60mでの得点制による合計得点で勝敗を競う新方式により、競技が行われた。

県関係の成績は次の通り。

- ◎一次選考 ▼男子(90名)
 - 長澤 克彦 30m7点・60m3点
 - 合計10点 予選落ち
 - 牧内 和宏 30m14点・60m17点
 - 合計31点(43位) 通過
- ▼女子(84名)
 - 近藤 明子 30m5点・60m12点
 - 合計17点 予選落ち
 - 高地美佐子 30m23点・60m7点
 - 合計30点(26位) 通過
- ◎二次選考(男女各48名)
 - 牧内 和宏 30m7点・60m26点
 - 合計33点 通過ならず
 - 高地美佐子 30m5点・60m17点
 - 合計22点 通過ならず



顧問	顧問	監事	監事	事務局 会計担当	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
大久保 秀雄	濱 與祐	吉澤 清	松村 泰夫	岡田 真	田口 光三	渡辺 富三	山浦 博	北嶋 晋	平野 英孝	百瀬 正	宮島 一	小池 梨枝子			

第58回わかふじ静岡団体秋季大会
長野県成年男女一次予選会

○12月8日/塩尻市菅弓道場

冬期間の練習の重要性を考え、昨年より年内に予選会を行い、有力選手の絞り込みを行っています。来年は秋団体に戻りますが、早期に強化選手を指定し、自覚をもつて練習に取り組んでもらいたく、今年も年内に予選会を行ないました。一次予選通過者は次の通りです(順不同)。

- 【男子】 飛知和明弘(上小) 井垣貴夫(松本) 内野貴文(松本) 新津一夫(長鉄) 志村仁(諏訪) 唐澤章(飯伊) 矢澤有史(松本) 牧内和宏(飯伊) 大口晴男(飯山) 山岸稔員(上伊那)
- 【女子】 伊藤梓(長野) 山田昌代(諏訪) 長尾真樹子(諏訪) 伊藤綾(上伊那) 三村典子(塩尻) 林玲子(飯伊) 笠原渚(諏訪) 林松子(飯伊) 久保田智恵(上伊那)

第15回
ねんりんびっく全国大会

○10月19日~22日/郡山市

参加60チーム

- 優勝 神奈川県 3位 岐阜県
 - 2位 大阪府 3位 熊本県
- 県関係の成績は次の通り

長野県18中

- 4 ××××××××××関沢喜内
- 3 ××××××××××道上英子
- 3 ××××××××××小林歳二
- 2 ○××××××××××百瀬 稔
- 6 ○○○○○××××丸山三夫

「あと一本中れば決勝トーナメント進出でしたので、一本の厳しさを思い知らされ残念でした。不本意な成績でしたが精いっぱい頑張って参りました。ご声援ありがとうございました。」

監督 関沢 喜内

第34秋季北信越学生
弓道選手権大会

○10月12日~14日/金澤大学特設弓道場

参加1部2部、20大学/大会長斉藤節朗

▼個人戦(男子) 40射

- ①近藤 恒平(信州大3) 38中
 - ②目黒 崇之(金工大2) 38中
 - ③咲川 雅敏(金工大2) 36中
 - ④桃井 潤一(信州大3) 36中
 - ⑤湯舟 正直(富山大1) 36中
- ▼個人戦(女子) 40射
- ①木内 恵(信州大4) 30中
 - ②平山 由佳(福井大2) 30中
 - ③濱田 敦子(金沢大3) 28中
 - ④池野 千歳(金工大2) 28中

▼山内杯

- ・男子: 玉木 智基(富山大3)
- ・女子: 熊谷 千夏(信州大3)

▼団体戦(男子)

- ①信州大学 5勝1敗
 - ②富山大学 5勝1敗
 - ③金沢工業大学 5勝1敗
- ▼団体戦(女子)
- ①信州大学 6勝0敗
 - ②金沢大学 5勝1敗
 - ③新潟大学 4勝2敗

平成14年
ごめい福をお祈りします

- 範士八段 百瀬 豊 (敬省略)
- 範士八段 千村 萬次郎 (大北)
- 教士七段 白崎 茂 (松本)
- 錬士六段 田中 衛 (長野)

- 錬士六段 森 泉 一 二 (小諸)
- 錬士六段 萩 原 卓 治 (佐久)
- 四段 武 田 公 男 (飯伊)
- 四段 西 川 昭 三 (飯伊)
- 参段 近 藤 森 雄 (松本)
- 参段 高 橋 孝 (須高)
- 一級 中 田 佳 甫 (飯伊)



- 顧問 平林 久男
- 顧問 遠山 肇
- 顧問 日暮 千曲
- 顧問 弾塚 寛
- 参与 小林 義行
- 参与 堀内 忠和
- 参与 長橋 秋男
- 参与 市川 茂太
- 参与 井堀 孝雄
- 参与 竹内 律子
- 参与 土川 俊市
- 参与 丸山 忠孝

第32回北信越弓道選手権大会

○11月3日/福井県立武道館弓道場
県関係の成績は次の通り(12射的中制)

●男子有段者の部

個人1位 11中 牧内 和宏

7中 山岸 稔員

個人3位 10中 小澤 剛志

●女子有段者の部

個人3位 8中 水田 明美

7中 春日奈美子

8中 久保田智恵

団体1位 (23中)

●称号受有者の部

5中 古川 忠司

5中 遠藤由美子

個人5位 9中 土川 俊市

団体4位 (19中)

★団体成績

●男子有段者の部

1位長野県 2位福井県 3位富山県

4位石川県 5位新潟県

●女子有段者の部

1位長野県 2位石川県 3位福井県

4位新潟県 5位富山県

●称号受有者の部

1位福井県 2位新潟県 3位石川県

4位長野県 5位富山県

総合優勝 長野県 " 4位 新潟県

" 2位 福井県 " 5位 富山県

" 3位 石川県

★個人成績

●男子有段者の部

1位牧内和宏(長野県) 2位北村直正

(福井県) 3位小澤剛志(長野県)

●女子有段者の部

1位平山由佳(福井県) 2位山口千春

(石川県) 3位水田明美(長野県)

●称号受有者の部

1位平松賢一(新潟県) 2位細川孝夫

(福井県) 3位武樋弘之(新潟県)

第21回全国高等学校弓道選抜大会 長野県予選会

下諏訪向陽選抜アベック出場

○12月7日/上田市営弓道場

寒風の中、第二十一回全国高等学校選抜大会長野県予選会が開催された。

団体少年の部一次予選を兼ねて、古澤

県弓連会長、山川副会長、外菌強化部

長、強化部長が熱い視線を送る中、寒

さを吹き飛ばす熱戦が繰り広げられ

た。結果は男女とも下諏訪向陽が優勝

し、三月二十一日〜二十三日に伊勢市

で開催される全国選抜大会に出場を決

めた。

★団体決勝リーグ

▽男子

①下諏訪向陽高校 2勝1敗(釜屋知

典・斉藤栄喜・矢崎竜一・小柄洞光)

②上田高校 2勝1敗(黒澤・高遠・武

田・小西) ③岡谷南高校 1勝2敗

(小池・関・山本・今井)

▽女子

①下諏訪向陽高校 3勝0敗(上原幸・

田中沙織里・近藤亜美・小池麻祐佳)

②篠ノ井高校 2勝1敗(原田・有賀・

丸山・南澤) ③田川高校 1勝2敗

(吉田・喜多・道上・橋本)

★個人(12射)

▽男子①岩下晃規(岩村田高校) 11中

▽女子①佐藤由美子(飯田高校) 9中



弓道用語

◆いぞめ・射初・射初式

年頭にあたり、初めて射を行う

こと、初めて弓を射る時に行われ

る式である。古くは正月三日、十

一日に多く行われたようである。

◆ももて・百手・百手式

射芸の一種で、一人で百手(一

手二本計二百射)を射て奉納する

射法を百手と云う。略して十人で

十手づつ射る場合もあり、的は五

尺二寸の大的で、距離は三十三杖

が本式である。

◎平成15年1月13日(成人の日)

祝賀百手式が小笠原流宗家及び

同門会により挙行されます。



一月五日・明治神宮内苑での百手式
長野県から参加した射手(昭和51年撮影)

報 告
第49回全日本勤労者弓道選手権大会兼第58回国民体育大会弓道競技リハーサル大会

十一月二十二日、二十三日、二十四日の三日間に亘り、来年の国民体育大会弓道競技が行われる静岡県浜松市弓道場において開催された。

我が長野県からは、八月十八日に行われた予選で優勝のJR長野、準優勝の中部電力飯田が出場した。

例年であれば、六月中旬に開催されている大会であるが、今年はその時期に世界的スポーツイベント「ワールドカップ」があり、静岡県内でも試合が行われたこともあり、この時期における開催となったようである。いかに東海地方が会場であったとはいえ十一月下旬での開催のため期間中は冷え込んだ大会となってしまう。

そのうえ一次予選の行われた二十三日は一日中雨模様で、選手控え室と試合開場が離れていたこともあり、各チームの選手は会場間の移動に自分の体と道具とが濡れないよう苦心をしていた。二十二日の午後五時から開会式が行われ各県からの代表チームが勢揃いした中で大会開始宣言がされ、開会式終

了後、地元の人たちから歓迎の芸能披露がされた。

長野県代表のJRは立番が出場チーム八十九チーム中一番で試合開始直後の出番であった。どんなことでもイの一番は緊張するものJR長野も多聞に漏れず力を発揮できずに予選通過ライン(チームで十一中)に届かず敗退してしまつた。中部電力飯田チームも試合開始一時間後の出場で緊張感若干ほぐれてきていたはずだが、あとわずかラインに届かず、予選落ちの憂き目を見た。

両チームとも過去に何度も勤労者全国大会に出場しているチームながら、今年も長野県代表の上位入賞はならなかった。入賞するには技術力もさることながら、緊張した場面で自分の力を信じて己を見失わず平常心でいられる精神力が求められるようである。

最後に、宿泊施設が諸事情により、会場から離れていたうえに、到底宿泊施設と呼べないレベルの宿もあつたようである。来年国体が開催されるにあたりて心配な一面もあつたので付け加えておき、来年の国体へ行かれる方は参考にしてください。

ご声援ありがとうございました。
 (JR東日本長野支社・中部電力飯田)

第50回全日本実業団弓道大会

女子個人で清水選手が

大会新記録で優勝!!

10月19日・20日/東京中央道場

第50回の記念大会で67事業所110チーム・800人が参加

近似的競技は直径36cmの色彩的(10・7・5・3点)を使用して行われ(決勝では各自4射)、女子個人戦で清水和代選手(長野県庁)が35点の新記録で優勝した。

長野県庁は、産業別対抗(官庁・鉄道部門)でも見事第二位の成績でした。

全日本弓道連盟

公式ホームページ開設されました

<http://www.kyudo.jp/>

主なコンテンツは次の通りです

- ①弓道の世界：弓道とは/弓道の歴史/射法について/道具について
- ②全弓道紹介：理念/概要/規約/加盟団体/入会案内/刊行物
- ③全国大会記録速報：主要大会の結果
- ④中央審査：規程/合格者名
- ⑤年間行事予定一覧：大会/審査ほか
- ⑥中央道場：アクセスと使用日程
- ⑦全弓連からのお知らせや行事等です

明治神宮境内整備事業 御奉賛のお願い

全日本弓道連盟の鴨川乃武幸会長は、今回の整備事業について、全弓連中央道場活用の立場から会員に奉賛協力を呼びかけております。

事業の中でも特に青少年の情操教育を始め人材育成のために利用可能な、宿泊施設を伴った「研修所」が平成15年に整備される計画です。

全国規模の講習会開催も容易となるこの宿泊施設は中央道場から徒歩圏内にあり便宜は計り知れないものがあります。

奉賛金の納入方法
 奉賛金の額
 任意額ですが五千円以上のご浄財をお寄せください。

○全弓連における取扱期間
 平成15年3月末日

○送金方法
 次の奉賛金専用郵便振替口座へご送金ください。

口座 〇〇一〇〇一九一五九二八二
 名義 財団法人 全日本弓道連盟

※奉賛金は芳名簿と共に取りまとめ明治神宮へ献納、奉賛者の芳名は機関誌「弓道」に掲載されます。



矢羽雑記

的矢には、羽が3枚ついておりそれぞれ走り羽・外掛羽・弓摺羽と言います。羽の中を通っている固い芯を茎といい左右は図のようになっています。

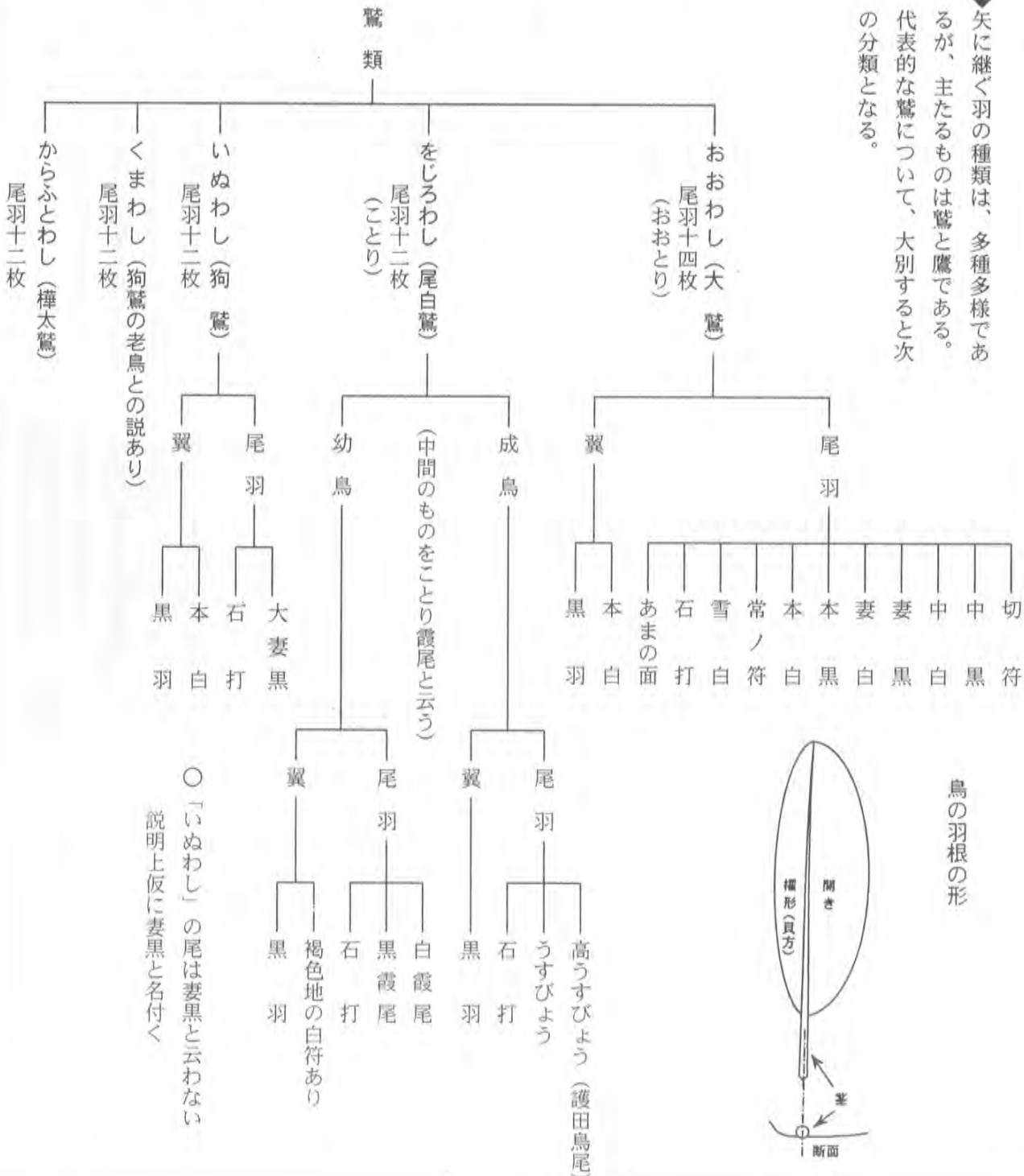
「開き」は、内側に向いており比較幅広で平らな形をしています。

一手あるいは四つ矢を揃えるには「権形」だけ、あるいは開きだけを使います。したがって権形ですと、鳥の右側の羽だけを使つて甲矢、左側だけを使つて乙矢を作ります。鳥の身体の左右鏡映対称性を利用して、甲矢、乙矢の一对に置き換えていることになります。

一羽の鳥の羽は一本一本形状が違いますから、揃ったものに仕上げようとすると、何羽もの鳥が必要になるわけです。たとえば、「石打」で、これは独特の形をしていて尾羽の一番外の左右一枚ずつしかありませんので、四つ矢を作ろうとすると、最低六羽の鳥が必要になります。斑や色、羽山の高さを合せようとすると、その何倍もの数の鳥から選ばれ、対称性を満たすには、そこに多くの苦勞が潜んでいることが分かります。

(協力/中島弓具店・中島忠夫氏)

◆矢に継ぐ羽の種類は、多種多様であるが、主たるものは鷲と鷹である。代表的な鷲について、大別すると次の分類となる。



鳥の羽根の形

審査合格者

○定期中央審査

◆七段の部 11月9日 東京

杉田 博(松本)

◆教士の部 11月9日 東京

田口 光三(上小)

○近畿地区臨時中央審査

◆六段の部 11月30日 京都

安藤 広明(松本)

○東海地区練士臨時中央審査

◆練士の部 12月8日 岐阜

寺島 秀人(大北)
久保田 智恵(上伊那)

審査合格者(地方)

○10月13日/池田町

一級 64名 初段 22名

式段 20名

平澤 悟・降旗郁佳・鳥屋加世子・矢口結以・喜多朝望・横山雄一・水谷雄一郎・清水あすみ・宮坂祥子・武田有希子・宮下由美子・中牧京子・齊藤達子・田村希・三浦由希子・相田裕美・松澤 章・大脇百合子・小野真太・丸山悦子

○10月14日/松本市営

一級 81名 初段 59名

弓道紹介

関所の町 木曾福島の弓道会

上沼 文隆

木曾福島の弓道場は、木曾家の菩提所臨濟宗長福寺の境内にあります。

昭和三十二年春、「昔しこのお寺に弓道場があったと聞きました」と、

尋ねて来られた方は今井善治郎氏(後教士・上田で逝去)であり、私しが住職した三年目の事でありました。

昭和十五年に弓を習い、在学中に旧

武徳会初段に合格したものの、戦争のため軍の学校、終戦、続いて十年禅の道場での修業、その間弓は引けなくてもあの魅力は忘れ得ないでいた。その所へおさそいの言葉でした。

早速近くに住む下條氏(後五段で逝去)を加え、境内西側竹藪の土手を発掘跡の砂を発見整備、戦時中防空監視哨に提出した道場跡の空地に立ち、十四年振りに弓を引いたので。

テレビも一般家庭にはなく、娯楽も少ない時代、忽ち三十人近い同好者が集まり会を発足、三十四年春には三人立ながら木曾谷戦後初の道場が完成、時に師範として松本の範士故百瀬豊先生にはすべての御指導を頂きました。

県の連盟でも大層喜ばれて以後約十年程は毎年審査が行われ、今は亡き春原平八郎、林亮天の両会長様には再々お越し頂き、私も四段まで寺内の道場で受けました。又大会には隣県の中津川、瑞浪、多治見方面から多数の参加があり、近県大会と称し盛会でした。

更に寺の座禅会「緑蔭禅の集い」も会員の手伝いにより行われ、正に「弓と禅」の道場と申せましょう。

昭和五十九年には下層が弓道場、上層に鐘楼と言う全国でも例の無い道場

に改築、只今会員二十名(有段者十三名) 毎月例会、大会は昔し通り、変わった行事として、江戸時代の関所を通じ当町と静岡県新居町とは姉妹都市であり、弓道も冬は新居町へ、夏はあちらの会員が木曾福島へと、その交流射会が恒例となっています。更に当町毎秋の「関所祭り」には弓道も一役を荷つて、普段は立入禁止の国史跡指定の関所跡地に仮説の塚を置き、代官行列に加わる大観衆の前で扇的の射割りを披露、外木曾支部内有志の参加を得て、訪れる観光客の前に終日競射を行うのも弓道のPRに大きく役立っていると思います。そして暮の町民武道大会で一年の終りとなります。

以上当道場四十五年の歴史と今日の消息をお知らせ致し、この間お世話になりました諸先生方に感謝を表します

が、今後に望みたいことは、他市町村の様な公営の広い道場がほしいこと。

更に悩みは新会員拡張のため、毎木曜夜と日曜午後の弓道教室に次々と申し込みがあるものの、二回顔を出しては終ってしまい定着する者が少ないのは誠に残念なことです。

この点県下各地弓友皆様のお智慧を賜り度く願っています。



昭和四十年代

式段 12名

小松香織・宮原麻実子・藤井常栄・大久保牧子・竹内蔬菜・リー・エゼル・中村 勇・花岡恵梨子・中村有希・白石理恵・赤塚幸香・手塚英喜

○北信越三県連合審査

10月20日/飯田県営

参段 3名

堀 由美子・林 紘子・柳沢那奈

四段 7名

斉藤彩乃・今吉 朗・奥谷俊和・巢山めぐみ・古川節子・佐々木和則・新井浩和

五段 12名

金廣暢子・城村勇二・深澤健二・石田直・野田栄一・高田浩樹・高井 治・名取吉幸・竹村侑子・小松将義・笹井夏子・佐藤良和

○10月27日/伊那市営

二級 2名

初段 11名

式段 19名

山本雄太・関真章・細川翔平・土田沙織・松下翼・福沢佑一・伊澤真弓・小野智彦・黒沢香菜・鈴木昌城・北林実・山岸夏深・斉藤栄喜・水上小百合・伊藤真人・小牧啓太・井出裕太・征矢三郎・杉山清

○10月27日/上田市営

二級 4名

初段 24名

式段 89名

小山俊二・花岡尚美・堀内勉・田中美栄・金澤雅文・小宮山恵実・山浦志織・依田美咲・大星絵莉子・清水真友子・田中慧史・荻原達也・片山瑛美・平田憲司・関綾美・高遠誠一・手島麻衣・井出ゆき奈・高橋勝・春原紗由里・金原明日香・皆瀬貴裕・畠山奈緒・関智恵美・稲葉吾郎・木次まゆみ・田中美奈実・成澤亜季紗・滝澤由佳里・岩砂絢子・高橋智洋・井出聖美・依田諒士・戸田裕子・柳平真弓・上野耕平・山下真梨・黒沢陽彦・篠原愛佳・山勝祐美・田中麻奈美・池内良美・加藤祐司・山田忠久・荻原豊夏・清水千恵美・荻原航・桜井孝雅・小林沙織・井出亜由美・柳澤裕明・池田彩・峰村友里・井部美幸・湯本夏菜子・池内恵理・北澤友美・西沢いずみ・上原啓介・元島有美子・小林美絵・黒沢悠樹・高柳蘭・藤井裕子・田中救章・白井雅子・畠山恵子・小宮山俊幸・河合孝雄・川上拓也・草間美保・荒川千晴・石渡美咲子・清水和沙・中条岳青・宮野雄介・佐藤正博

一級 148名

小池民雄・松島琢真・伊勢田愛・土屋明夫・寺島洋平・松田恵理・直井栄子・重田はるか・笠井文彦・丸山理英子・佐藤恒人・澤本麻衣

参段 17名

岩成直樹・内田小百合・三村典子・谷口真依子・磯谷風太・橋本和美・内野貴文・伊藤綾・山田洋史・弥永まり子・山崎孝・小渊真美・西澤永子・宮下倬實・関口健一・川村重幸・中島洋子

四段 7名

平野聡志・小西佐多男・窪田和恵・丸山三夫・金子二三恵・和久実

○11月4日/更埴市営

一級 114名

式段 17名

中村紀咲・久野大雅・田原宏美・春日貴衣・徳永紗織・田村千恵・内村圭佑・小川奈津美・植村睦・田中菜津子・早川紀子・船山俊介・小林真彦・塚田勇人・藤原将章・福澤貴則・吉岡小百合

○11月10日/県営飯田

二級 3名

初段 45名

式段 51名

小松博明・井口梨紗・今井悠太・山岸淳・馬場努・清水和世・藤井慶太郎

伊藤春奈・高田陽祐・松下慎司・本村隆行・塩澤宏幸・龍口真人・平沢綾・今村恭子・吉村朗・滝沢信江・滝澤智恵・鶴飼みゆき・中島正博・石川聡・西澤沙央理・松澤陽・北原洋平・松下竜也・濱島良太・長谷部真吾・中越裕章・串原嘉宏・小林泰輔・藤本潤・加藤由佳・渋谷洋平・幅佐世子・辻美穂子・塩澤理恵子・伊藤裕太・土屋堅一・平松鉄雄・元島和人・古田淳美・中崎千穂・平澤京子・佐々木真理子・代田光史・松村顕司・大畑大輔・片桐まどか・藤田顕・山田昌代・蜂谷朋大

○11月10日/長野市営

一級 178名

初段 49名

太田俊・佐藤大土・服部洋介・深澤和美・倉嶋三千華・半田俊明・中田史子・上村未香・大久保佑美・櫛勇樹・福沢茜・武由香里・長島美奈・福澤咲・河野成香・巾嶋寛子・宮下浩一・越石尊仁・村井伸哉・宮入美里・峯村重揮・阿部美佳・山崎郁矢・吉川精一・阿部 恵・宮尾佳明・望月春輝・小林峻・村上昌弘・富野那弥・中村小枝子・石丸祐樹・高橋幸広・古池伊吹・宮澤司・中沢萌未・畔上美保・高澤めぐみ・吉野昭司・押金みずえ

各地大会 結果報告

軽井沢紅葉まつり 第19回町長旗争奪弓道大会

○10月14日/南軽井沢木鶏館弓道場
参加者76名
成績は次の通り(各20射)

▼男子

- 一位 滝沢篤次郎 15中(神奈川)
- 二位 宮崎 完 15中(上小)
- 三位 田村 信一 14中(群馬)

▼女子

- 一位 西沢 永子 13中(松本)
- 二位 細川 とし 12中(上小)
- 三位 春原由美子 11中(上小)

第22回飯山市民弓道大会

○10月14日/飯山市弓道場/参加者59名
成績は次の通り

▼高校男子(各20射)

- ・団体①飯山北B34中(斉藤正太・宮川定洋・宮下浩一)

- ・個人①宮川定洋12中(飯山北)②宮本和寿12中(飯山南)③宮下浩一11中(飯山北)

▼高校女子(各20射)

- ・団体①飯山北F24中(高山美有・福沢茜・高橋咲子)

- ・個人①福沢茜11中(飯山北)②斉藤梨沙9中(飯山南)③高橋咲子8中(飯山北)

▼一般男子(20射)

- ・個人①古澤金蔵15中②小坂雅勝13中③岡田宏之13中

▼一般女子(20射)

- ・個人①水野悦子11中②丸山晴美9中③岩崎恵美子4中

第22回池田町秋季大会

○10月27日/池田町弓道場/参加者244名

▼高校団体

- ①松本深志(太田知宏・下平将人・上條圭太郎)②松商学園(興宏美・岩佐雄飛・草間みど理)③池田工業(細野友貴・久保田舞・鎌倉有也)

▼高校個人

- ①草間みど理(松商学園)②興宏美(松商学園)③鎌倉有也(池田工業)

▼一般団体

- ①八ッ岳(中沢弘幸・相沢勝浩・小池正夫)②池田C(松倉志・曾根原登志男・山田雅亮)③長野運動公園(原山勝美・金子俊一・山崎利八)

私と弓道

長野日大高校弓道部

村井伸哉



自分が弓道を始めから一年半が過ぎようとしています。その間自分とはとてもいろいろな事を通じて教わってきました。弓道が他の武道と違う所は相手がない事です。相手は自分自身です。また自分自身との闘いという事は、自分の心身の弱さや甘さとの闘いだと思っています。弓道を始めてからずっと己の心を表す鏡だと教わってきました。「的は正直に自分の心を写す」自分でも本当にそう思います。自分に對しての甘さや迷い等があった場合、矢は的に真直ぐに飛んでいきません。そしてその心の甘さや迷いは的中という形ではつきり目に見えるものになりその結果が自分に再び吸収されていきます。本当に自分自身と闘う事の大変さが実感できます。

また弓道部に入り自分の認識の甘さもとてもよくわかりました。弓道は自分との闘いなので、練習をしていると自分の考えや視点に捕われ易くなつてしまいます。普段自分の感覚で弓を引いてしまい自分の認識の狭さに気づかれます。自分で正しいと思いやつている事もいつの間にか正しい事からずれてしまう事も多々あります。そこで自分自身との闘いではあるけど自分の事を客観的に見ているいろいろな事を教えてくれる仲間というのが弓道にはとても大切なんだと思います。

弓道はとても厳しく苦しくもありませんが自分にとっては自分を認める良い機会であり強くなる場でもあります。これから一本一本を常に本気でよりよい射を目指し頑張っていきたいです。



▼一般個人

①中沢弘幸(塩尻) ②相沢勝浩(諏訪) ③水田明美(上伊那) — 宮本 —

第37回飯島大会

○11月23日/飯島町営/参加者192名

成績は次の通り

◎団体①東伊那(山岸四郎・森田慶一・山岸稔員) ②善哉館(広田義照・中村久美・土川俊市) ③志学館(柳沢南・大和瞳・和田舞子)

◎個人(8射)▽学生①窪田幸永(赤穂) 7中②柳沢南(志学館) 7中③北林実(高遠) 6中④井出裕太(下諏訪向陽) 6中⑤大和瞳(志学館) 6中
▽一般①長沢克彦(下諏訪) 8中②高地美佐子(上昇) 8中③柴種徳(伊那) 7中④飛知和明弘(上昇) 7中⑤水沢良宣(上昇) 7中 — 山口 —

第58回南信大会

○11月24日/県営飯田/参加者311名

成績は次の通り

◎団体①飯田工高(長谷部真吾・渋谷洋平・田中守) ②飯田女子高OG(平沢京子・片桐まどか・佐々木真理子) ③松川C(斉藤実・宮下徳男・岩村和夫)

◎個人▽一般四段以上①篠田知博(橋南) ②仲田耕一(同) ③相沢勝浩(茅野)▽同参段以上①斉藤実(松川) ②片桐まどか(飯女OG) ③佐々木真理子(飯女OG)

▽高校有段者①山本雄太(岡谷南) ②志賀明美(伊那西) ③田間温子(飯田女子)
▽同無段者①上久保達也(飯田長姫) ②内山広之(下伊那農) ③麦島佑輔(阿智) — 村松 —

会議報告

○11月24日/ホテル信濃路/長野市

県弓道連盟 常任理事会

〔議題〕・平成14年度事業報告と反省

・平成15年度事業計画(案)

○12月1日/長野第一ホテル/長野市

県弓道連盟 各事業部会

〔議題〕・平成14年度事業報告と反省

・平成15年度事業計画(案)

◆今後会議予定

15年1月19日 県弓連理事会
" 2月2日 " 総会

編集後記

清々しい気持ちで新しい年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。新年の決意の中に、弓道にかける思いも十分に込められたことと思います。昨年の「祝射会」では多くの弓士の昇格・昇段・各種大会の成果に対してお祝いがありました。共に厳しい「道」を求めて参りたいと思います。今年も会員皆様の益々のご活躍をご期待致しますと共に、あわせて長野県弓道連盟の発展を心から祈念致します。

「弓道ながの」も発行以来一年を経過致します。多くの皆様のご協力により年四回の発行ができました。皆様のご期待に添うことができたか、いささか不安な点も多くありますが、さらにいろいろなご意見をお寄せ頂き充実した紙面にしていきたいと思えます。

過日の事業部会において「長野県弓道連盟史」の刊行について取組みを検討致しました。詳細につきましては役員総会において決定されますが、平成十六年中に編集を終えて十七年に発刊する計画です。これについても多くのご支援を頂きたいと思えます。

(北村 彌昌)

新年 謹賀

かぎりない弓道心に真心でおてつだい



有限会社

中島弓具店

長野市中御所1丁目12番5号

TEL026(228)3443 FAX026(223)4855